

名古屋大学情報基盤センター

共同利用システム速報

No. 211

2023年1月30日発行

1. スーパーコンピュータシステム利用申請受付期間・・・・・・・・・・【1】
2. Intel コンパイラで MPI を利用するときの注意点・・・・・・・・・・【1】
3. 2022年度スーパーコンピュータ「不老」研究成果報告入力のお願ひ・・・・・・・・・・【2】
4. ポイントの計画的なご利用のお願ひ（再掲）・・・・・・・・・・【3】
5. 期限切れファイルの消去について・・・・・・・・・・【4】
6. 利用者講習会の開催について・・・・・・・・・・【4】

1. スーパーコンピュータシステム利用申請受付期間

2022年度および2023年度の利用申請受付期間は以下の表のとおりです。

申請書類	名古屋大学情報基盤センターの受付期間
2022年度新規・追加	～2023年2月22日（水）必着
2023年度への継続	2023年2月1日（水）～2023年3月22日（水）必着
2023年度新規・追加	2023年3月1日（水）～随時受付

事務手続きに時間がかかる場合がありますので、2022年度新規・追加および2023年度への継続のお申し込みは、なるべく早めをお願いいたします。

なお、継続申請書は1月下旬から支払い責任者宛てに順次郵送しております。

2. Intel コンパイラで MPI を利用するときの注意点

対象システム：TypeII サブシステム、TypeIII サブシステム、クラウドシステム

対象システムにおいて、MPI プログラムを実行(mpirun, mpiexec)する際、以下の点にご注意ください。

TCS (ジョブスプリクト) にて「#PJM --mpi proc=[プロセス数]」を指定した場合、環境変数は設定されますが、実行されるプロセス数には影響されません。MPI プログラムの実行(mpirun, mpiexec)時には、-n オプションでプロセス数の明示的な指定が必要です。

明示的な指定がない場合、TCS で「#PJM --mpi proc=[プロセス数]」を指定していても、1プロセスで実行されてしまいますのでご注意ください。ご参考までに、以下に例を記載いたします。

ジョブスクリプトの例：

- ・ リソースグループ cl-middle
- ・ ノード数 16 ノード
- ・ プロセス数 320 プロセス
- ・ 1 プロセスあたりのスレッド数 1 スレッド(オプション不要)
- ・ 経過時間 1 時間

複数ノード MPI 並列ジョブ用スクリプト (Intel MPI)

```
#!/bin/sh
#----- pjsub option -----#
#PJM -L rscunit=cl
#PJM -L rscgrp=cl-middle
#PJM -L node=16
#PJM --mpi proc=320 ←省略可能
#PJM -L elapse=1:00:00
#PJM -j
#----- Program execution -----#
module purge
module load intel
mpiexec -machinefile $PJM_O_NODEINF -n 320 ./a.out ←必ず記入のこと
```

-n オプションでプロセス数の明示的な指定が必要です。指定がない場合、1プロセスで実行されてしまいます。

詳細は、hpcportal (<https://portal.cc.nagoya-u.ac.jp/>) のマニュアルをご参照ください。

マニュアル — 利用手引き書 —

TypeII 利用手引き書 — P.59 5.3.2. MPI オプション

TypeIII 利用手引き書 — P.42 5.4.5.3. 単一ノード MPI 並列ジョブ用スクリプト

クラウド利用手引き書 — P.59 6.3.3. MPI オプション

3. 2022 年度スーパーコンピュータ「不老」研究成果報告入力をお願い

2022 年度にスーパーコンピュータ「不老」をご利用の皆様は、**2023 年 3 月 29 日（水）**までに、以下の入力手順に沿って研究成果の報告をお願いいたします。

<研究成果入力手順>

(1) 以下の URL にアクセスし、「アンケート要項」よりアンケート用紙をダウンロードしてください。(ファイル名 : flow_seika2022_USERID.xlsx)

<https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/sc/news/2022-seikahoukoku.html>

- (2) ファイルの各シートのセルに研究成果情報を入力してください。
- (3) HPC ポータルにアクセスし、左タブ「研究成果登録」をクリックしてください。

<https://portal.cc.nagoya-u.ac.jp/cgi-bin/hpcportal.ja/index.cgi>

- (4) ページ内に記載されている URL にアクセスし、ファイルをアップロードしてください。ファイルの名称は、ご自身の登録番号に併せて変更してください。

正しい例：flow_seika2022_z49999a (ご自身の登録番号) .xlsx

誤った例：flow_seika2022_USERID.xlsx

アップロード方法を図示したマニュアルおよび「よくあるお問い合わせ」への回答を記載したパターン集を用意しております。以下の URL にアクセスし「アンケート要項」より実施マニュアルをご覧ください。

<https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/sc/news/2022-seikahoukoku.html>

入力していただいた情報は、文部科学省などの各種調査や予算要求などに利用させていただきます。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

4. ポイントの計画的なご利用のお願い (再掲)

取得したポイントは、取得した年度内に限り有効です。

例年、年度後半は混雑が予想されますので、計画的なご利用をお願いいたします。

- ・ログインノード上で以下のコマンドを入力することにより、**前日までの利用ポイント**および**残ポイント**が確認できます。

個人のポイントを確認するコマンド： charge

ログインした利用者の残ポイント・利用ポイントおよび現時点のファイル使用量が表示されます。

課題グループ全体の確認： charge2

ログインした利用者が所属するグループメンバー全員の残ポイント (グループ全体) と利用ポイント (アカウントごと) が表示されます。

- ・Web を使って課金情報を確認するには、アカウントポータルをご利用ください。

<https://portal.cc.nagoya-u.ac.jp/toolbox/AccountPortal>

- ・ポイントを使い切ったあとの利用について

<https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/sc/news/general/2021-04-21-yosan.html>

5. 期限切れファイルの消去について

新年度（2023年度）への継続申請をされていない利用者のファイル（全システム）は、4月末日に消去します。

必要なファイルは、3月末までに外部媒体にバックアップするか、他の継続申請済の登録番号にファイルを移行してください。

6. 利用者講習会の開催について

2月開催予定の講習会は以下のとおりです。

- (1) 第45回お試しアカウント付きスーパーコンピュータ「不老」利用型講習会
OpenFOAM（中上級・かくはん槽解析）
スーパーコンピュータ「不老」TypeI（FX1000）利用
2023年2月13日（月） 10：00～18：00
<https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/sc/news/event/2023-02-13-openfoam.html>

- (2) ABINIT-MP 講習会
スーパーコンピュータ「不老」TypeII（CX2570）利用
2023年2月20日（月） 13：00～17：20
https://www.hpci-office.jp/events/seminars/seminar_abinit-mp_230220

- (3) 第46回お試しアカウント付きスーパーコンピュータ「不老」利用型講習会
OpenMP（初級）
スーパーコンピュータ「不老」TypeI（FX1000）利用
2023年2月21日（火） 10：00～17：30
<https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/sc/news/event/2023-02-21-openmp.html>

いずれも参加費は無料です。

すべてオンライン形式での開催となります。

(1) および(3)は講習会当日から3日間利用できるお試しアカウント付きです。ぜひ復習にお役立てください。

詳細・申込は、以下 URL のお知らせの個所をご参照ください。

<https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/sc/index.html#notice>

ご興味のある方はぜひご参加ください。

【発行】

名古屋大学情報基盤センター 共同利用担当

電 話 : 0 5 2 - 7 8 9 - 4 3 5 4

メール : kyodo@itc.nagoya-u.ac.jp